

クラス番号	629	担当教員名	小松 理佐子
テーマ	地域福祉の財源をどのように調達するか		
著書・論文 研究課題等	『生活支援の社会福祉学』(共)有斐閣、2007 年 『社会福祉の理論と運営―社会福祉とはなにか』(共) 筒井書房、2012 年 『対論 社会福祉学(第2巻)社会福祉政策』(共)中央法規出版、2012 年		
ゼミナール概要			
キーワード：コミュニティファンド、共同募金、寄付の文化、NPO、社会的企業			
目的、内容、方法等： このゼミでは、地域福祉を推進するための財源をどのように調達するかを研究します。 社会福祉法では、地域福祉のための寄付を募る団体として共同募金会が位置づけられています。赤い羽根共同募金は1947年から毎年秋に行われていますが、その募金額は年々減少しています。また、内閣府の調査では、昨年1年間に寄付を1件も受けなかったNPOが約半数という実態が明らかにされています。これまでも日本のNPOは諸外国のNPOに比べて寄付金収入の割合が低く、日本には寄付の文化が育っていないといわれてきました。その分、日本のNPOは、行政からの委託金や補助金に頼って活動する傾向がみられています。しかし、このようなやり方では、特徴ある地域福祉活動を進めていくことに限界があります。一方、最近では、複数の社会福祉法人が拠出して基金を作ったり、地域の特産品を販売して得た収入を福祉活動の資金にまわすなど、新しい財源の捻出方法に取り組んでいる地域・団体がみられはじめています。 このようなことを踏まえてゼミでは、①共同募金など地域福祉の財源についての歴史研究、②海外の非営利組織についての文献研究、③共同募金や新しい財源の捻出方法に取り組んでいる地域・団体についての調査、を行います。これらを通じて、いきいきとした地域福祉活動を推進するための財源のあり方を考えます。 授業計画： ＊3年次 前期 共同募金の歴史研究、海外の非営利組織についての文献研究 後期 共同募金などについての実態調査と研究レポートの作成 ＊4年次 前期 卒業論文のための研究（個人） 後期 卒業論文の完成と国家試験対策			
担当教員からのメッセージ			
専門演習では、じっくりと文献を読んだりする時間を大切にしたい授業をする予定です。 フィールドワークが得意な地域福祉コースですが、フィールドワークを支えるのは論理的思考です。思考力を鍛えたい人を歓迎します。			